

10月1日（火）、3年3組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は「仕事のくふう、見つけたよ」です。2年生の友達に伝えたいことを意識して、スーパーマーケット見学で分かったことの中からテーマに合った内容を選び、作文の組み立て表をつくるのが目標です。

3年生の児童は、事前に社会科の学習でスーパーマーケットを見学しました。そして、スーパーマーケットがお客さんのためにしている工夫について調べ、2年生の友達に伝えることにしました。

初めに、前時に決めた作文のテーマを、確認しました。児童からは、「バックヤード」「店の外の様子」「商品の並べ方」と発表がありました。そして、「分かったよカード（見学して分かったことを書いたもの）」の中から、テーマに合ったカードを見付ける練習をしました。例えば、「商品の並べ方」をテーマにしたとき、「調理をしている人は帽子を被って、髪の毛が入らないようにしている」はテーマに合わず、「冷凍食品の隣に保冷バッグが並べてあった」はテーマに合う、といった具合です。



【内容を選ぶ練習の様子】

次に、「分かったよカード」のうち、2年生の友達に伝えたいものを3枚まで選ぶようにしました。児童は、机にたくさんの「分かったよカード」を広げ、選んでいました。その様子は、どれも伝えたい内容なので、迷っている様子でした。その後、グループになり、選んだ「分かったよカード」がテーマに合っているかを友達と確認しました。「いいと思うよ」や「4枚になっているから、1枚減らすといいよ」という会話が聞かれました。



【グループで確認する様子】

最後に、選んだ「分かったよカード」に、「〇〇のくふう」のような小見出しを付けました。そして、「分かったよカード」の内容を組み立て表に書きました。どの順で伝えると伝わりやすいかを考えたり、考えたことや思ったことを書いたりしました。考えたことや思ったことが思い浮かばない児童については、「古い商品が奥に置いてあるとどうなの？」や「きれいに並べてあるとどんな気持ち？」と児童に投げ掛け、考えさせました。



【組み立て表を書く児童】

次時では、組み立て表を基に、報告文を書きます。見つけたスーパーマーケットの工夫を伝えるためには、伝えたい内容や相手が明確になっていることが大切です。今回の学習では、グループの友達と、テーマと内容にずれがないかを確認できるようにしました。また、「2年生に」と、相手を意識させることで、「しっかりと書かなければ」という思いを高められるようにしました。これから、どんな報告文が出来上がるのか、楽しみです。